

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

1. 市立短期大学棟（本校舎）の構成

市立短期大学棟（本校舎）においては、主に以下の諸室を想定し、概ね5,000㎡規模の建築物とすること。なお、学生の安全と快適性を確保できるよう空間構成に配慮すること。

分類	主要諸室	
講義室	外部開放教室	・大講義室
	教室	・中講義室、講義室、ゼミ室
	その他	・倉庫（ゼミ室）
特別教室	特別教室	・コンピュータ室（大）、演習室、理科室、美術室（演習）、美術室（デッサン）
	図書館	・図書館
	その他	・倉庫（演習室）、倉庫（薬品）、織機倉庫等
教員室	研究室	・教員用研究室、共有研究スペース
管理・事務局	事務局・管理室	・学長室、会議室 兼 応接室、事務室、キャリア支援室、印刷室、保健室、非常勤講師控室、サーバ室、倉庫等
共用部	ホール・ロビー	・ロビー、学生ラウンジ
	その他	・ロッカー室、トイレ、洗濯スペース、廊下、機械室・電気室
その他	その他	・ゴミ庫、駐輪場、農場、屋上テラス ※1

※1 学生等が休憩や飲食等に使用する場所で、安全性や快適性に考慮すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

2. 施設全体の要求水準

市立短期大学棟（本校舎）の施設計画内容は、次のとおりである。

■施設全体	
建築	
外観計画	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺との調和に配慮するとともに、地域のランドマークとなる形態意匠とすること。公園と（仮称）倉敷ファッションセンター棟を含めた再編整備施設全体で一体性のある外観計画とすること。 ・窓・建具の設置にあたっては隣接建物、公園との視線の交錯に配慮すること。 ・建物デザインは、温室効果ガス削減や機能性を重視したデザインとすること。 ・「倉敷市公共事業景観ガイドライン」の景観重点公共事業として所定の検討を行い、外観計画等に反映すること。倉敷市都市景観審議会資料の作成を行うこと。
配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）地域交流スクエア棟は別棟とする。両者は原則、可分の関係である。 ・雨天時等でも、市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）地域交流スクエア棟の間を円滑に行き来できるよう計画すること。 ・敷地東側への配置を原則とする。具体的な配置位置は【別添資料12】モデルプラン（配置）を参考にする。ただし、自由な提案を妨げるものではない。 ・龍王山への眺望を考慮し、民話通りの延長線の空間を確保すること。原則として、景観を損ねる建築は行わないこと。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）地域交流スクエア棟、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、児島公園の相互利用が促進される、一体的な施設配置計画とすること。公園と一体的に整備する計画であることを理解した上で、安全で分かりやすい施設配置とすること。避難誘導や救助活動が容易に行えるよう配慮すること。 ・北側及び東側の地域住民の生活環境、及び周辺事業者の事業環境に十分に配慮を行い、プライバシー保護や騒音・排気対策、景観に配慮すること。 ・児島フェス#せんいさい等のイベント時の活用が期待できる計画とすること。 ・児島公園と一体的な活用が期待できる計画とすること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

外部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設を利用する歩行者の動線と自動車動線の分離に努めること。 ・各施設利用者動線とサービス動線等は明確に区分し、適切な動線計画を行うこと。 ・障がい者や高齢者等の快適かつ安全な移動に配慮すること。 ・児島駅、駐車場（近隣駐車場含む）、近隣公共交通機関からの来館者が容易に理解し、円滑にアプローチできるよう配慮し、適切な位置に出入口を設置すること。 ・休館時に他の施設の利用に不便が生じない計画とすること。 ・駐輪場の動線も、安全に配慮すること。 ・歩道の切り下げや舗装の現況復旧、埋設管の敷設等、道路に係る整備に関して、関係諸機関との協議に基づいて行うこと（敷地外工事を含む）。
建物内動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性、バリアフリー化、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）を考慮した内部動線とすること。 ・来校者、職員、学生いずれも迷うことなく円滑に利用にできる内部動線となるよう配慮すること。 ・外部からの来校者（公開講座聴講者、演習室訪問者等）が利用する動線が来校者の特性を踏まえた上で合理的かつ明快に計画され、不必要に学生生活空間、研究空間に干渉しないように計画すること。 ・利便性を考慮し、適切な台数のエレベーターを設置すること。また、乗員数に応じたホールを備えること。
平面計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設を構成する各諸室の使用状況及びセキュリティ区分を踏まえたゾーニングとすること。 ・諸室の配置及び面積については、諸室要求水準及び「別表01」を基準とし、使用目的や機能に応じた最適な計画とすること。 ・平面計画にあたっては、施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確保、遮音性能などを考慮すること。なお、平面構成の検討材料として【別添資料13】モデルプラン（市立短期大学棟（本校舎）・（仮称）地域交流スクエア棟）を提供する。 ・廊下、ホール等は障がい者等の利用や緊急時の往来、教材の仮置き等に配慮した幅員・面積等とすること。 ・公園からの騒音に配慮した計画とすること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の利用率が高い講義室系諸室を集中的、かつ低層に配置するなどして、学生の移動の負担がなるべく低減される計画とすること。 ・諸室の連携や授業準備や移動の効率の向上に配慮した諸室配置とすること。 ・研究室前には軽作業が可能な共有研究スペースを設置する平面計画とすること。また、休憩等が行えるラウンジスペースを確保すること。 ・事務室の配置にあたっては、来校者対応、教務事務に加えて、安全の確保に配慮した計画とすること。 ・保健室は救急車両が直接アクセスできる位置に配置すること。 ・将来的な学生数の変動、教育内容の変化、学科改編、什器・備品の変更や用途変更等への柔軟な対応が可能な計画とし、間仕切り変更や部屋の用途変更、改修工事の容易性などを考慮した平面計画、荷重設定とすること。 ・それぞれの施設に共通する電気室や機械室については、系統を施設別に区分し、共通の諸室としてよいものとする。 ・事業者の創意工夫により、学生の自習空間、交流促進や、地域連携の促進、ゆとりある空間確保などの提案を期待する。
断面計画	<ul style="list-style-type: none"> ・1階床高さは標高2.8m以上とすること。 ・各諸室の天井高さを適切に確保した上で、建物全体としてはなるべく高さを押さえた計画とし、近隣への圧迫感の低減に努めること。 ・断面計画にあたっては、施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確保、遮音性能などを考慮すること。
仕上計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地震時の剥落、落下による二次災害抑制に配慮した内外装材とすること。 ・外装等の仕上は構造躯体の保護や経年劣化による意匠性を考慮すること。 ・外装材について、鳥類、鼠族及び昆虫の侵入並びにそれらの住着きを防ぐ構造とすること。また、植栽の影響を受けにくい、材料・構造とすること。 ・内装材、外装材、建具等について、耐久性が高く、調達が容易な汎用品の採用に努めること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・内装仕上材は、諸室の用途、利用内容や形態など各室の特性に配慮したものとする。 ・壁・床の仕上材の選定では授業内容に鑑み、耐水性、耐薬品性、耐熱性、耐摩耗性、防汚性に配慮して選定すること。 ・仕上材は、長寿命で耐久性に優れ、かつ、清掃・補修等がしやすいなど維持管理が容易なものを選定すること。 ・移動間仕切りは収納が容易であり、かつ、防音性も優れたものとする。 ・施設利用者が利用する場所に用いるガラスは原則、強化ガラスとすること。 ・木質化に努め、岡山県産材を積極的に使用すること。 ・外部に面する窓には原則、網戸を設けること。 ・窓に設けるカーテン、ブラインド等は別表 01 による。 ・暗幕を設ける部屋は光漏れに注意し、必要に応じて、窓以外の開口部にも遮光の措置がとれるようにすること。 ・施設修繕時及び解体時に環境汚染を引き起こさない内外装材を選定すること。 ・危険な凹凸を避ける、怪我をしない素材を使用するなど、利用者の安全性に配慮すること。また、乳幼児の利用が想定される部屋ではアール加工とするなど、特に留意すること。 ・各室の用途・機能に応じて断熱、吸音、遮音材を十分検討して採用すること。 ・使用する材料（建築資材等）は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質の削減に配慮したものとする。 <p>諸室の揮発性有機化合物の室内濃度は、文部科学省が定める指針値以下とする。</p>
安全・防犯計画	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口、重要諸室（事務室、サーバ室、教員室等）、外部から侵入可能エリアといったセキュリティの設定を行った上で区画を明確にした計画とすること。 ・視認性の確保や死角をなくすことに配慮し、施設利用者の安全に配慮した施設とすること。 ・不審者対策を講じること。 ・建屋廻りには適切に外灯等配置し、夜間の安全にも配慮した計画とすること。 ・バルコニー、屋外階段等を設ける場合は、落下防止に配慮すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の機器や備品等は地震の振動により転倒しないよう適切に設置すること。 ・避難誘導のためのサインを適切に計画すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）1 階出入口、職員出入口、その他計画上必要とする箇所にカード認証等による開錠システムを設置すること。詳細は入退室管理設備の項による。 ・カメラ設備については、「防犯カメラ設備」の項による。 ・個人情報等の重要な情報資産を適切に管理、保護するため、事務室、サーバ室、教員室等にセキュリティレベルを設定し、入退室管理設備を導入する等の情報セキュリティ対策を講じること。 ・施錠が必要となる施設設備は、本市が今後決定する維持管理・運営方針に基づく施錠計画とすること。
防災計画・BCP	<ul style="list-style-type: none"> ・火災等の災害時には、容易かつ安全に避難することができる建物とし、特に障がい者等の自力で避難が困難な利用者（要介助者等）には十分に配慮すること。 ・建物内外について災害時の避難動線を確保し利用者の安全を守るとともに、緊急車両の動線や寄り付きにも配慮すること。 ・地形、地質、気象等の自然的条件による災害を防ぐため、建築構造部材、非構造部材、設備機器等の総合的な安全性の確保に配慮すること。 ・洪水ハザードマップ等を踏まえ災害発生時にも建物機能を維持できるよう配慮すること。特にライフラインの確保に配慮すること。 ・インフラ途絶時も電力供給に耐えうるものとする。
ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れ、全ての利用者が円滑かつ快適に利用できる施設を実現すること。 ・「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」や「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「都市公園の移動円滑化ガイドライン」等を遵守し、「建築物移動等円滑化誘導基準」に適合させること。 ・機能（遮音性等）に支障のない範囲で引戸を採用するなどして、だれにでも使いやすい施設とする。
環境配慮計画	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ基準については、倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>の「目標基準」以上の性能（Z E B-R e a d y以上の認証を得られる建物性能）の確保が確認できる計画とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー（太陽光発電設備）の導入については、倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づいて最大限の導入に努めること。 ・倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づくゼロカーボン技術項目の導入に努めること。 ・クールらしきアクションプランの啓発効果も念頭に、来校者へのアピールにも配慮すること。 ・学生等のための緑ある空間とするため、屋上緑化の採用を検討し、緑化に努めること。 ・周辺地域に対して日光の反射や風害、設備機器等から日常的に発生する騒音、振動、排気ガスなどをできるだけ低減できるよう配慮すること。
維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の長寿命化に配慮し、ライフサイクルコスト低減効果の高い建物とすること。 ・建物の冷暖房負荷の低減を図り、電気、ガス、水道等の水光熱費の抑制に配慮すること。 ・行政ニーズの変化や将来の情報通信技術等への対応にも配慮すること。 ・設備更新や維持管理を容易に行うことができるよう配慮すること。
外構計画	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙 4「外構施設整備計画要領」を参照すること。
サイン計画	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や子ども、高齢者、外国人など全ての人に配慮したユニバーサルなサインとすること。 ・わかりやすく、視認性に優れたサインとすること。 ・将来において、諸室の配置が変更となった場合にも容易に対応可能なサインとすること。 ・外部からも容易に視認できる位置に館名サインを設置する。 ・現在地及び各施設の出入り口位置及び施設名や、施設の総合案内、階平面、室名等が容易に分かるよう、適切に内外部のサインを設置すること。 ・外部サイン（字体等を含む）のデザインは、敷地内及び周辺地域の景観に配慮したものとし、複合施設全体で統一されたデザインとすること。 ・必要に応じて、サインは多言語対応とすること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、J I S 規格に準拠したピクトサインを活用したものとすること。
昇降機設備	<ul style="list-style-type: none"> ・必要台数を確保するとともに、ストレッチャーや什器類の搬入等にも配慮すること。 ・高齢者、車椅子使用者に対応すること。 ・警報装置を設置すること。 ・地震管制、火災管制、停電時自動着床機能を有すること。 ・省エネ機能の採用に努めること。 ・開口部より中が視認できる構造とすること。
構造	
耐震性能	<ul style="list-style-type: none"> ・学校として多数の者が利用する施設にふさわしい性能を確保すること。 ・施設の耐震安全性の分類は、「官庁施設の総合耐震・津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）」に基づき、次の基準以上とすること。（表 2. 1. 1 の（八）） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 構造体の耐震安全性：Ⅱ類 ➤ 非構造部材の耐震安全性：B 類 ➤ 設備の耐震安全性：乙類 ・非構造部材、手すり、建具、屋外広告物についても安全性を確認すること。
耐久性能	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造の場合、建築工事標準仕様書／同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）に定める耐久性能「標準（計画供用期間おおよそ 65 年）」を確保すること。 ・鉄骨造の提案の場合も、鉄筋コンクリート造の場合と同等の耐久性能を確保するものとし、防錆等の適切な措置を施すこと。 ・主要構造材、二次部材等について。海岸近くに立地することを考慮し、必要に応じて適切な対策を講じること。また、設備機器等についても、同様に配慮すること。
設備全般	
一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・設備方式、機器選定、各設備配管配線、施工にあたっては、耐久性、信頼性、耐震性、維持管理性、省エネルギー性、安全性、環境性に配慮すること。 ・電気・空調等は、各エリア・室等の使い勝手を考慮し、個別制御・集中管理を適切に設定すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・更新及びメンテナンスを考慮し、各設備室や設備シャフト内には、更新用の予備スペースや将来対応の空配管等を設置すること。 ・倉庫や研究・実験等を行う諸室は、将来の変化にも対応できるよう配慮した設備等の計画とし、転用を見据えた適切な機器設置、配管スペースも見込んでおくこと。 ・各設備機器は用途等に応じて、リスク分散、冗長性に配慮し選定すること。故障時にも速やかに修理対応が可能なものとし、交換・保守部品が、容易に入手可能なものとする。 ・各設備機器及び設置場所は、修繕、更新時などの搬入出経路（昇降機設備が利用できない場合の揚重機械等の設置スペース含む）の確保等、維持管理の容易性に配慮すること。 ・ライフサイクルコストの低減に配慮すること。 ・地震、津波、洪水、強風、雷等の自然災害に対する被害防止対策を講じること。 ・各設備機器を屋外設置する場合は周辺環境に十分に配慮し、計画すること。 ・建築設備設計・施工指針 最新版に基づきダクト・配管等は耐震化を行い、地盤の変位にも対応した設計とするとともに、設備機器の転倒防止・落下防止対策を万全に行うこと。 ・インバーター機器は、市立短期大学棟（本校舎）及び周辺施設に対し影響を与えないよう必要に応じて高調波低減対策を施すこと。 ・諸室環境に応じた適切な計画を行い結露防止や防カビ対策を行うこと。 ・屋外に設置する各機器は適切な塩害対策を行い、機器の長寿命化を図ること。
電気設備	
受変電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に高圧受変電設備を設置すること。各棟への配電方式は、施工性や維持管理等を考慮し決定すること。 ・変圧器容量は、将来的な増加分を見込むこと。 ・変圧器は超高効率のアモルファストランスとすること。 ・変圧器増設スペースを十分見込んでおくこと。 ・電源設備は通信、情報、音響等に対し、高調波やノイズ等の影響を及ぼさないこと。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲への振動騒音、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・停電時に法令上求められる防災負荷及び機能維持に必要な電力供給を確保するための超低騒音型非常用発電設備を、市立短期大学棟（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に設置すること。 ・給水設備を防災負荷とすること。 ・燃料貯蔵容量については、設定発電機の消費燃料に基づき、長時間運転を考慮すること。浸水時にも機能を阻害されない様に配慮すること。但し、少量危険物の数量未満とすること。 ・燃料補給が簡易にできるよう考慮すること。 ・周囲への振動騒音を考慮した設備とし、設置場所も浸水被害等を考慮すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）の必要箇所を負荷対象とすること。 ・アリーナ空調設備については、外部電源車にて送電を考慮すること。
太陽光発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根、屋上に光熱費削減効果、外観、維持管理など、可能な限り太陽光発電設備の有効活用を考慮し設置すること。尚、下限値は特に定めないものとする。 ・商用電源との系統連系とし、停電時は自立運転が可能で、必要な負荷に供給するものとする。 ・電力監視設備で運転状況、状態監視等が監視、制御、モニター表示ができるよう配慮すること。また、太陽光発電設備の電力、電力量なども計測、計量が可能なものとする。
電力貯蔵設備	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学（本校舎）、もしくは（仮称）地域交流スクエア棟に電力貯蔵設備を設置すること。 ・運用上必要な負荷を対象とした直流電源装置を設置すること。 ・直流電源装置は長寿命型とし、将来の増設を見込んだ容量とすること。 ・周囲への振動騒音、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。
動力設備	<ul style="list-style-type: none"> ・動力制御盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。 ・動力制御盤は電力の計測（空調設備、ポンプ等）が可能な回路構成とすること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

電灯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・分電盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。 ・電灯設備の監視及び制御は、必要に応じて、安全性及び保全性を考慮して、必要となる動作、警報表示等が行えるものとする。 ・各施設機能を考慮し十分な照度の確保に配慮すること。 ・点滅区分を適正に設定し、こまめな消灯ができるよう配慮すること。また、人感センサー、昼光センサー制御やゾーンニング制御等により、照明による消費電力の低減を図ること。 ・照明器具は、諸室の用途と適性を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行うとともに、維持管理の容易性にも配慮すること。 ・その他、必要に応じて保安照明を設置すること。 ・各室の照明は事務室、（仮称）地域交流スクエア棟においても集中管理パネル（電灯等の一括入切が可能なもの）を設置し一括管理できるようにすること。 ・非常照明、誘導灯は、関連法令に基づき設置すること。
コンセント設備	<ul style="list-style-type: none"> ・拡張性に配慮すること。 ・部屋の用途及び目的に応じた取付位置、形式、数量及び容量とすること。 ・停電時の予備電源は、一般用と区別できるようにすること。 ・将来のW i - F i 対応として、各室の室面積に応じて天井コンセントを適切な個数設置すること。 ・安全上考慮が必要な部分のコンセント等についてはカバー付き・鍵付き等配慮すること。
構内電話交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・電話線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、予備配管を敷設すること。 ・原則としてダイヤルイン方式とし、運営者の業務内容を想定した回線数とすること。 ・昇降機設備の遠隔監視用等に配線を行うこと。 ・建物内各室に配管配線等を行うこと。 ・各諸室に必要な応じて電話機を設置すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟で相互通話が可能なものとする。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟間、（仮称）地域交流スクエア棟間に予備配管を敷設すること。
構内情報通信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・通信線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、十分な余裕をもった条数を確保すること。 ・各諸室に必要な応じて情報コンセントを設置すること。 ・情報コンセント設置位置に予備配管も敷設すること。 ・フリーW i - F i 用の配管を敷設すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟（校舎部分）間、（仮称）地域交流スクエア棟間に光ケーブルを敷設すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟間、（仮称）地域交流スクエア棟間に予備配管を敷設すること。
テレビ共同受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・地上波デジタル放送、B S 及びC S 放送の受信が可能なアンテナ及び増幅器、ケーブルテレビによる受信設備等を設け、映像及び音響設備とも連携した共聴設備とすること。 ・その他設備のアンテナを計画するため、設置スペースを確保すること、また将来用予備配管を確保すること。 ・各諸室に必要な応じてテレビ端子を設けること。
拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室に放送設備を設け、各室にマイクによる音声放送が可能なものとする。 ・市立短期大学棟（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟で相互放送が可能なものとする。 ・一般業務放送は、非常放送、B G M 放送、時報と兼用とすること。 ・必要箇所に音響設備を一般放送とは別に設置すること。 ・音響設備は、ワイヤレスアンプ、マイクシステムも含むものとし、プロジェクターと連動できるものとする。 ・必要箇所に簡易型ワイヤレスアンプ、マイクシステムを設置すること。
誘導支援設備	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に配慮し各種誘導案内設備を設置すること。
インターホン設備	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）1階出入口等に、インターホンを設置し、事務室、中央監視室に設置されているインターホン

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>と連携すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターホンはカメラ付きとし、遠隔で開錠可能とすること。
入退室管理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）に、カード認証等による開錠システムを設置すること。 ・人の立ち入りを監視することを目的として適切な位置に、入退室管理設備を設置すること。 ・入退室管理システムは、400人程度の登録が可能なシステムとすること。 ・入退室管理システムは、認証方式や運用方法も含めて、効率的かつ安全性の高いシステムとすること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟の連動が可能なものとすること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟の監視制御が可能なものとすること。
出退表示設備	<ul style="list-style-type: none"> ・出退表示システムを設置すること。 ・事務室においてモニターで確認できること。 ・表示人数は40人以上とすること。 ・入退室管理設備に、出退表示システム機能が付加されている場合で上記を満たす場合は、兼ねることができる。
自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室に受信機を設置すること。 ・（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟の監視が可能なものとすること。
構内配電通信線路	<ul style="list-style-type: none"> ・地中管路には、適切な箇所に点検スペースも含めた適切な大きさのハンドホール、マンホールを設けることとし、蓋は周囲の意匠に配慮すること。また、車両通行部分のハンドホールは、重耐重蓋とすること。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエアの連動が可能なものとすること。 ・予備配管を適切に見込むこと。 ・市立短期大学棟（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエアに将来用予備配管を敷設すること。
中央監視設備	<ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、発電設備、直流電源装置、照明制御、動力設備、

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>放送設備、自動火災報知設備、入退室管理設備、防犯カメラ設備、排煙設備、トイレ呼出設備、E L V設備等の監視、制御等を事務室、（仮称）地域交流スクエア棟中央監視室で可能なものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各受変電設備の状態を監視できるよう配慮すること。 ・市立短期大学棟（本校舎）のエネルギー等使用量の監視、分析が行えるように必要個所に電力量計等を設置すること。 ・エネルギー等使用量（各種負荷設備、エリア、用途等）の監視、分析を行い最適なエネルギー管理が可能なようにB E M Sを設置すること。 ・各機器の状態、異常信号、使用量が監視できるものとする。
防犯カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・監視することを目的として適切な位置・数の防犯カメラを設置すること。 ・防犯カメラ設備を市立短期大学棟（本校舎）内及び駐車場内等の必要箇所に設置し、事務室、（仮称）地域交流スクエア棟で監視制御が可能なものとする。モニター等も設置すること。 ・カメラは夜間でも監視及び録画を行う機能を有すること。 ・録画容量は2週間分以上とすること。 ・機械警備用配管の設置を行うこと。
トイレ呼出設備	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレ等に押しボタンを設け、異常があった場合、表示窓の点灯と警報音等により事務室、（仮称）地域交流スクエア棟中央監視室に知らせること。
情報表示設備	<ul style="list-style-type: none"> ・市立短期大学棟（本校舎）のイベント情報や関連情報などを放映する情報 モニター（デジタルサイネージ）を必要箇所に設置すること。 ・プロジェクター設備を必要箇所に設置すること。 ・プロジェクターは外光も考慮した、十分な明るさの機器とすること。 ・部屋サイズにより補完モニターを設置すること。
雷保護設備	<ul style="list-style-type: none"> ・J I S規格や関連法令に従い、雷保護設備を設置すること。 ・主要機器に対して内部雷保護対策を講じること。
空調設備	
空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・諸室の空間・用途・目的に応じた空調システムを採用し、適切な室内環境を確保すること。 ・ゾーニングや個別空調の考え方について、最適なシステムを

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>計画すること。エントランスホール、廊下等は、適宜エリア区分し、エリア毎に管理できるようにし、事務室等の個室は個別空調を可能とするとともに、事務室、（仮称）地域交流スクエア棟中央監視室において集中管理可能な計画とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備は、環境配慮、保守性、更新性を総合的に考慮し高効率の機器を採用すること。 ・室各所で温度等のモニタリングや温度調整ができるよう配慮すること。 ・可能な限り、諸室の静音環境を保つような設備計画に努め、屋外機器の騒音、振動が室内に伝播しないよう配慮すること。 ・一般諸室の設計温湿度条件について、屋外温湿度は、「建築設備設計基準」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）最新版に示された値のうち、本件施設用地の立地をふまえ適正な値を設定すること。屋内温湿度は、「建築設備設計基準・同要領」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）最新版によるが、利用者の快適性を考慮した計画とすること。
換気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・諸室の用途、目的に応じた換気システムを採用すること。 ・空気バランス、省エネルギー性能、環境性能、シックハウス対策に配慮すること。 ・可能な限り各諸室で制御できるものとともに、事務室、（仮称）地域交流スクエア棟中央監視室において集中管理可能な計画とすること。
排煙設備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令に従って、必要に応じて設置すること。
自動制御	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）地域交流スクエア棟中央監視室において設備機器類の運転監視を可能とし、日常点検や維持管理、異常警報等の監視システムを計画すること。
給排水衛生設備	
給水設備	<ul style="list-style-type: none"> ・給水システムの選定にあたっては、建物計画による合理性に配慮すること。 ・給水方式は原則、受水槽式（ポンプ直送式）とする。 ・受水槽を設置する場合は、以下を原則とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 感震器連動の緊急遮断弁及び給水栓を設けること。 ◦ 衛生に配慮し藻対策を考慮すること。 ◦ 保守点検時に供給が停止しないように配慮した計画とす

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時にも十分に機能を確保できるよう配慮すると共に、設備機器の耐候性や耐久性にも配慮すること。外部に設ける場合は液状化に配慮した設置計画とすること。
排水設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守性、機能性に配慮すること。 ・ 汚水と雑排水は別系統で整備する。 ・ 適切に下水道に接続すること。なお、排水に関しては、自然勾配によることを基本とし、ポンプアップはできる限り行わないこと。 ・ 屋外排水ルート（雨水含む）は、極力建築物の下部を通過しないこと。 ・ 必要に応じて、グリーストラップやプラスタートラップ等の阻集器を設けること。阻集器は防臭蓋とし、床面の水や砂埃等が流入しない構造とすること。
給湯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守性、機能性、省エネ性、安全性に配慮すること。
衛生設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能性、節水性、清掃を含む保守性に配慮すること。 ・ 感染症対策に十分配慮し、非接触型を基本とした衛生器具を採用すること。 ・ 想定される建物利用者に応じて誰もが使いやすい器具を採用し、ユニバーサルデザインに配慮すること。 ・ 原則、大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・ 原則、小便器は低リップとすること。 ・ 原則、手洗いは自動水栓とすること。 ・ トイレ内の掃除道具入れには掃除用流しを設置すること。
ガス設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令に従って設置すること。
消火設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防法に基づき、必要な消火設備を設置すること。 ・ 原則として、消火器ボックスは、壁埋め込み方式とすること。

3. 各諸室の要求水準

市立短期大学棟（本校舎）棟における各諸室の計画内容は、次のとおりである。
 なお、各諸室に設置する什器、設備などは以下に示すもののほか、「【別表01】市立短期大学棟（本校舎）」を参照し、設置すること。

（1）講義室

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

大講義室	
用途	講義形式授業、講演会、公開授業
規模	240 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスからの来訪者動線がシンプルとなり、学生動線や管理諸室と不必要に交錯しない位置に配置とすること。 ・ 市民公開講座や講演会などを催すにふさわしく、かつ、明るく、開放感があるしつらえとすること。 ・ 机椅子は固定式とする。市民公開講座や講演会などでの使用に対して、快適な仕様であること。 ・ 全ての椅子から教壇が十分見えること。必要に応じて、階段教室とすること。 ・ グランドピアノ（既設移設）を設置するスペースを教壇脇に有すること、 ・ 白板（上下式）を前方 1 か所に設ける。白板は映写可能であり、かつ、その大きさはプロジェクターを映写している状態で、授業に十分な余白を有していること。 ・ 計画する教室形状では、白板のみではプロジェクターの視聴に支障が予想される場合、適宜サブモニター等を設置すること。 ・ WEB 会議用の情報コンセント、スピーカーセットを設けること。 ・ 教壇は複数人が登壇することが可能な大きさ、仕様とすること。 ・ 入試にあたって、外部からの騒音が支障とならない、また、室内で演奏するピアノの音が、隣室や外部での活動の妨げとならない、遮音性を有していること。 ・ 講演者の待機、動線に配慮した計画とすること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスから容易にアクセスできる位置に配置させること。 ・ 講演者の待機を想定する部屋（応接室、会議室、非常勤講師控室）と容易に往来できること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター設備を設置すること。 ・ 音響スピーカー及びワイヤレスアンテナを設置すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	・音響ワゴン卓(ワイヤレスマイク含む)を設置すること。
--	-----------------------------

中講義室	
用途	講義形式授業、演習、グループワーク
規模	100 m ² 程度
設置数	2 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な講義に使用される教室である。エントランスからなるべく近い場所に、他の大講義室、中講義室、講義室と徒歩での移動が容易な範囲に配置すること。全て同一階である必要はない。 ・ 白板（上下式）を前方 1 か所に設ける。白板は映写可能であり、かつ、その大きさはプロジェクターを映写している状態で、授業に十分な余白を有していること。 ・ 白板を後方 1 か所に設ける。白板脇には白板と同じ高さで掲示板を設ける。 ・ 計画する教室形状では、白板が見えにくい場合、見えにくい席のためのモニターを設けること。 ・ 入試にあたって、外部からの騒音が支障とならない、遮音性を有していること。
他室との関係	・ 授業間の移動が容易になるよう、各講義室は無理なく徒歩移動できる範囲に配置すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター設備を設置すること。 ・ 音響スピーカー及びワイヤレスアンテナを設置すること。 ・ 音響ワゴン卓(ワイヤレスマイク含む)を設置すること。

講義室	
用途	講義形式授業、演習、ゼミ、グループワーク
規模	65 m ² 程度
設置数	3 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な講義に使用される教室である。エントランスからなるべく近い場所に、他の大講義室、中講義室、講義室と容易に行き来できる位置に配置すること。全て同一階である必要はない。 ・ 白板（上下式）を前方 1 か所に設ける。白板は映写可能であ

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>り、かつ、その大きさはプロジェクターを映写している状態で、授0に十分な余白を有していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白板を後方1か所に設ける。白板脇には白板と同じ高さで掲示板を設ける。 ・ 壁面はプロジェクターが映写可能であること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業間の移動が容易になるよう、各講義室は無理なく徒歩移動できる範囲に配置すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター設備を設置すること。

ゼミ室	
用途	ゼミ利用の小部屋、自習、ミーティング
規模	30 m ² 程度
設置数	6 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究室との連携を考慮した配置とすること。分散して配置することは構わない ・ ゼミ室①②、③④、⑤⑥の間は可動間仕切（SW）で仕切られており、可動間仕切を収納すれば1室として利用可能な仕様とする。 ・ SWは隣室でのゼミに支障がない程度の遮音性を有していること。 ・ 同時に12ゼミを行うことがあるため、各ゼミ室は、アコーディオンカーテン(本工事)やパーティション等(本工事)により2分割して使用することを想定したしつらえとすること。 ・ 壁（SW含む）はプロジェクターの映写が可能であること。 ・ 製作系のゼミの利用など考慮し、汚れにくく、清掃のしやすい床や壁のしつらえとすること。 ・ 使用する機材（パソコン、ミシン、アイロン等）を想定した設備とすること。 ・ ロールスクリーンとすること。 ・ 廊下から内部が見える窓等を設けること。開口部にはロールスクリーンを設けること。 ・ 廊下の壁に掲示板を設置すること。 ・ 手洗いを設けること。 <p>（ゼミ室①に1つ、③に1つ、⑤に1つ、計3つ）</p>

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	・ 白板を 2 か所に設ける。位置等は提案による。
他室との関係	・ 学生の利用しやすい位置に設けること。階が分散することは構わない。
建築設備要件	・ 部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

倉庫（ゼミ室）	
用途	ゼミで利用する什器、物品の倉庫
規模	60 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内装及び、設備機器の仕様はゼミ室に準じること。 ・ 壁はプロジェクターの映写が可能であること。 ・ 製作系のゼミの利用物品など考慮し、汚れにくく、清掃のしやすい床や壁のしつらえとすること。 ・ ロールスクリーンとすること。 ・ 廊下から内部が見える窓を設けること。開口部にはロールスクリーンを設けること。 ・ 廊下の壁に掲示板を設置すること。
他室との関係	・ いずれかのゼミ室と同一階に設けること。
建築設備要件	－

（2）特別教室

コンピュータ室（大）	
用途	CAD・CGの授業及び実習
規模	130 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロッター、デジタイザー、大型スキャナー設置スペースを教卓付近に確保すること。 ・ 白板（上下式）を前方 1 か所に設ける。 ・ CAD授業など、照明をつけたまま高精細な映写を利用して授業を行うため、プロジェクターには、十分な照度と、細かい線まで見える明晰さを持つ性能を有していること。 ・ 計画する教室形状では、映写されたCADの線などの視認に支障が予想される場合、適宜サブモニター等を設置するこ

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>と。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールスクリーンを設けること。 ・入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、下駄箱（60人分、上下2段収納式）を室内に設置すること。（利用時は上履きに履き替える。）
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく、サーバ室の近くに配置すること。 ・利用率の高い部屋なので、低層階かつ他の講義室に近い場所への配置が望ましい。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・プロジェクターを投影するための電動スクリーン及びスクリーンボックスを設ける。 ・音響スピーカー及びワイヤレスアンテナを設置すること。 ・音響ワゴン卓（ワイヤレスマイク含む）を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

演習室	
用途	学修成果発表会（子どもの森、倉敷市立短大子どもの劇場等）、地域貢献・子育て支援事業、演習（模擬保育等）、自主活動（劇練習）
規模	120 m ² 程度（収納スペース 10 m ² 程度を含む）
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度、保育園児の利用が見込まれる。また、子どもの劇場などの催しものの会場となることが想定されている。これらを考慮し、エントランスからの来訪者動線がシンプルとなり、学生動線や管理諸室と不必要に交錯しない位置に配置すること。入退室に当ってベビーカーの移動に支障がないこと。内装・家具の材料の選定や、角部の処理は、児童や園児の安全に配慮したものとする。 ・教室前方（4 m程度）は舞台として利用可能な空間とし、以下を設けること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ プロセニウム幕等（なお、大黒幕は引き分け可能であり、背後の壁は映写可能であること） ◦ 音響ワゴン卓（壁面スピーカー） ◦ 配線ダクト用調光型スポットライト（8個程度）

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体照明はダウンライト（調光調色可能） ・ アップライトピアノ（備品）設置スペースを設けること。 ・ 教室後方に収納スペース（奥行 1 m 程度の収納棚を設け、扉または戸を容易に開閉できること）を設けること。 ・ 1 面の壁に姿見の鏡（幅 4 m 以上×高さ 1.8m 程度 カーテン、着脱式バー付）を設けること。 ・ フローリング床とすること。 ・ 暗幕を設けること。暗室とするために、外部側だけでなく、必要に応じて廊下側等にも設けること。 ・ 絵の具を洗い流すなどするための、流し（幅 0.6m 程度）を設置すること。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・ 下駄箱（60 人分、上下 2 段収納式）を廊下に設置すること。（利用時は上履きに履き替える。） ・ 外部からの騒音が公演の支障とならない、また、室内での催し物の電気音響やピアノの音が、隣室や外部での活動の妨げとならない、遮音性を有していること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倉庫（演習室）と隣接すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音響ワゴン卓（ワイヤレスマイク、B D 含む）を設置すること。 ・ 音響スピーカーとして壁面にスピーカーを設置すること。 ・ 部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。 ・ 配線ダクト（スポットライト）を設置すること。 ・ 全体照明はダウンライト（調光調色可能）を設置すること。

倉庫（演習室）	
用途	こどもの劇場備品等を収納する倉庫
規模	30 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台車等の利用を想定した壁のしつらえとすること。 ・ 将来的に居室や教室に転用可能な部屋とすること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習室と隣接すること。
建築設備要件	－

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

理科室	
用途	学生実験授業、染色授業（実験授業、染色）
規模	120 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の実験台を設けること <ul style="list-style-type: none"> ◦ 教師用実験台（固定式、ガス 2 箇所、流し、コンセント（100V 専用回路 2 回線）、収納棚付）× 1、 ◦ 8 人掛け実験台（固定式、ガス 1 箇所、流し、コンセント（100V 専用回路 2 回線）付）× 2 ◦ 8 人掛け実験台（移動式）× 2 ・ 薬剤や染料の利用を想定し、床面の材料は耐薬性があり、汚れにくく掃除のしやすい材料とすること。また、換気にも十分配慮した計画とすること。 ・ 白板（上下式）を前方 1 か所に設ける。 ・ 教室後方に、以下を設けること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ガステーブルコンロ 1 口× 1（ガスコンロ（大）用）（幅0.8m×奥行0.6m×高さ0.6m程度、タニコー同等品） ◦ コンロ台× 1（ガスコンロ（小）用）（幅1.1m×奥行0.6m×高さ0.6m程度、下部に大型鍋収納付）（移設品である一口ガスコンロ（小）2 台設置可能とする） ◦ 移設品である、脱水機付き洗濯機洗 1 台、洗濯堅牢度試験機 1 台、mini-colour（染料試験機）1 台を設置できるスペース。 ◦ 教室後方の上記が設置されたエリアから水が出ないようにするための堤 ◦ 洗濯機廻り床壁の防水 ・ 実験装置等収納棚（幅5m×高さ2.1m程度、鍵、耐震ラッチ付）を設置すること。 ・ 窓下に収納棚（高さ0.9m程度、窓下コンセント付、2 段扉付）を設置すること。 ・ シンク（幅2.35m×高さ0.8m程度、シンク幅0.45m×奥行0.45m×深さ0.24mとシンク幅1m×奥行0.45m×深さ0.24m、シンク間隔は0.5m）を 3 台設置する（2 台の方がレイアウトが

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>良いことが明らかな場合は2台でもよい）。各シンク水栓3つ以上（温水）とし、水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。プラスタートラップ等の排水トラップを設置し、清掃しやすい位置・構造とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊排水はポリタンク受けとし、産業廃棄物として処理を行う。 ・ドラフトチャンバー（幅0.7m、アズワン3-2020-13同等品程度）を設置すること。 ・移設品である、デシケーター、通気度試験器、ピリングテスター、コンベクション乾燥機を設置するスペースを設けること。 ・荷物ロッカー（18人分）の設置できるスペースを廊下に設けること。 ・外部からの騒音が機器による測定の支障とならない、遮音性を有していること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫（薬品）と同一階に設けること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・プロジェクターを投影するための電動スクリーン及びスクリーンボックスを設ける。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。 ・配線ダクト（配線ダクト用スポットライト×8個程度、配線ダクト用コンセント×8個程度）を設置すること。

倉庫（薬品）	
用途	薬品等を収納する倉庫
規模	15 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品庫を設置するスペースを設けること。 ・染料等を収納する物品棚（幅5m×高さ2.1m程度）を設置すること。 ・台車等の利用を想定した壁のしつらえとすること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・理科室の近くに設けること。
建築設備要件	－

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

美術室（演習）	
用途	美術授業（講義、デッサン、油彩等）
規模	120 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・美術系授業に使用されるため、採光に配慮した配置、仕様とすること。 ・授業用の椅子机として、以下の家具を設置可能とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦教師用実習机（幅3m程度） ◦机（幅1.8m×奥行0.9m）×15台 ・作品の制作に配慮して、汚れにくく清掃しやすい床及び壁仕上げとすること。また、換気にも十分配慮した計画とすること。 ・白板（上下式）を前方1か所に設ける。 ・壁面に沿って適宜収納棚（高さ0.8m程度、2段）を設けること、棚上部の壁は作品展示可能な仕様とし、上部にピクチャーレールを設けること。 ・廊下にもピクチャーレールを設けること。 ・シンク（幅1.8m×高さ0.8m程度、シンク幅1.3m×奥行0.4m×深さ0.2m）3台を設置すること。ただし、2台の方がレイアウトが良いことが明らかな場合は2台でもよい。 シンクは絵の具等の利用を考慮し、詰まりにくい仕様とすること。各シンクに水栓を3つ程度（温水）とし、水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。プラスタートラップ等の排水トラップを設置し、清掃しやすい位置・構造とする。 ・作品保管用に以下のスチールラックを設置するスペースを設けること。なお、以下のラックは移設を予定しているが、室計画により、そのままの形状では移設が難しい場合、同程度の保管スペースを有する備品を作りつけてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ◦スチールラック （幅1.8m×幅0.9m×高さ1.8m）×5台程度 ・製作音が他の教室での授業の支障とならない、遮音性を有していること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

他室との関係	・美術室（デッサン）、倉庫（服美）、倉庫（保育）、織機倉庫と容易に行き来できる位置に配置すること。同一階が望ましい。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・プロジェクターを投影するための電動スクリーン及びスクリーンボックスを設ける。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。 ・配線ダクト（配線ダクト用スポットライト×8個程度、配線ダクト用コンセント×8個程度）を設けること。作品の吊り下げが可能な強度を有していること。 ・高演色タイプの照明器具とすること。

美術室（デッサン）	
用途	美術授業（デッサン、油彩等）
規模	90 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・美術系授業に使用されるため、採光に配慮した配置、仕様とすること。 ・授業用の椅子机として、以下の家具を設置可能とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦教師用実習机（幅3.0m程度） ◦机（幅1.8m×奥行0.9m）×15台 ・作品の制作に配慮して、汚れにくく清掃しやすい床及び壁仕上げとすること。また、換気にも十分配慮した計画とすること。 ・白板（上下式）を前方1か所に設ける。 ・壁面に沿って適宜収納棚（高さ0.8m程度、2段）を設ける事、棚上部の壁は作品展示可能な仕様とし、上部にピクチャーレールを設ける事。 ・廊下にもピクチャーレールを設けること。 ・シンク（幅1.8m×高さ0.8m程度、シンク幅1.3m×奥行.4m×深さ0.2m）3台を設置すること。ただし、2台の方がレイアウトが良いことが明らかな場合は2台でもよい。 <p>シンクは絵の具等の利用を考慮し、詰まりにくい仕様とすること。各シンクに水栓を2つ以上（温水）とし、水栓器具は</p>

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>レバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</p> <p>プラスタートラップ等の排水トラップを設置し、清掃しやすい位置・構造とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品保管用に以下のスチールラックを設置するスペース。なお、以下のラックは移設を予定しているが、室計画により、そのままの形状では移設が難しい場合、同程度の保管スペースを有する備品を作りつけても良い。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ スチールラック <p>（幅1.8m×幅0.9m×高さ1.8m）× 5 台程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移設予定のできるスペースを設けること。 ・製作音が他の教室での授業の支障とならない、遮音性を有していること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・美術室（演習）、倉庫（服美）、倉庫（保育）、織機倉庫と容易に行き来できる位置に配置すること。同一階が望ましい。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・プロジェクターを投影するための電動スクリーン及びスクリーンボックスを設ける。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。 ・配線ダクト（配線ダクト用スポットライト×8個程度、配線ダクト用コンセント×8個程度）を設けること。作品の吊り下げが可能な強度を有していること。 ・高演色タイプの照明器具とすること。

織機倉庫	
用途	織機等を収納する倉庫
規模	30 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・既存スチール棚（幅0.89m×奥行0.4m×高さ1.76m）を設置するスペース。 ・卓上織機収納棚（幅1.5m×奥行0.6m×高さ1.7m 棚3段）を設置すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・美術室（デッサン）の近くに配置すること。
建築設備要件	－

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

倉庫（服美）	
用途	倉庫
規模	45 m ² 以上
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾美術学科の備品、学生製作物、画材等を収納する倉庫。 ・壁 2 面に画材収納用の物品棚（幅1.5m×奥行0.5m×高さ1.8m程度）を設置すること。 ・台車等の利用を想定した壁のしつらえとすること。 ・将来的に居室や教室に転用可能な部屋とすること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・美術室（デッサン）、美術室（演習）、倉庫（保育）、織機倉庫と容易に行き来できる位置に配置すること。同一階が望ましい。 ・レイアウト上、倉庫（服美）と倉庫（保育）の広さが等しくない場合、広い方を服飾美術学科用とすること。
建築設備要件	－

倉庫（保育）	
用途	倉庫
規模	45 m ² 以上
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・保育学科の備品、学生製作物、画材等を収納する倉庫。 ・収納棚（高さ1.8m程度）を設置すること。 ・台車等の利用を想定した壁のしつらえとすること。 ・将来的に居室や教室に転用可能な部屋とすること。
他室との関係	・美術室（演習）、美術室（デッサン）と隣接すること。
建築設備要件	－

図書室	
用途	図書室
規模	275 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が利用しやすい位置に配置すること。 ・調べものやグループ学習、自習に適した、静かで落ち着いた空間とすること。外部内部の騒音や動きなどにより学習に支

	<p>障の出ない計画とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室は閲覧スペース60㎡程度、展示スペース25㎡程度、新聞スペース15㎡程度（前記合計で100㎡程度を目安とするが、計画により、多少面積が減少することはさしつかえない。）、集密書架50㎡程度、司書スペース30㎡程度を目安とし、残りは開架書架スペースとする。 ・カウンターを設けること。 ・書架を設置すること。数量は下記を目安とする。開架と集密の配分は計画により多少変動してよい。計画により収蔵冊数が増加することはさしつかえない。 <p>開架書架：15,000冊分程度 集密書架：20,000冊分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書架には適切な耐震対策が施されていること。 ・以下の家具什器を設置できるスペースを設けること。なお、事務机以外は若干減少しても差し支えない。 <ul style="list-style-type: none"> ◦カウンター内書架×2台 ◦事務机 × 2台 ◦閲覧用机（キャレル） × 14セット ◦閲覧テーブル（4席） × 4セット ◦新聞棚 × 1台 ◦ロビーチェアとデスク ◦展示架 × 1台 <ul style="list-style-type: none"> ・以下の既設備品を設置できるスペースを設けること。なお、室計画により、そのままの形状では移設が難しい場合、同程度の性能を有する備品を作りつけても良い。 <ul style="list-style-type: none"> ◦新刊展示書架1 × 台 ◦雑誌架 × 3台 ◦紙芝居架 × 1台 ◦ディスプレイラック × 1台 ◦片面木製書架 × 1台 ◦閲覧用机-書棚付（4席） × 2台 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドまたはロールスクリーンとし、日射の影響が懸念される場所に書籍を配置する場合、適切に日焼け対策を実施
--	--

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	すること。
他室との関係	・他の教室や廊下、外部の環境が、図書館に影響を極力及ぼさない計画とすること。
建築設備要件	－

（3）教員室

教員用研究室	
用途	教員室
規模	15 m ² 程度
設置数	18 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究・授業準備に用いるシンプルな部屋。 ・研究活動に支障がない程度の遮音性を有すること。 ・研究に用いる、機器や書棚を設置可能とすること。 ・廊下の壁に、掲示板を設置すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・研究室外から室内の様子がわかるようにすること。ただし、必要に応じてロールスクリーンなどによりプライバシーが確保できるようにすること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ室との連携を考慮した配置とすること。分散して配置することは構わない。 ・共有研究スペースと一体的に整備すること。 ・個人情報の取り扱いや面談など行う事から、学生ラウンジなどから距離を取って配置すること。
建築設備要件	・研究で使用する機材（パソコン、プリンター、アイロン等）を想定した設備とすること。

共有研究スペース	
用途	教員用研究室に付属する、打合せ、作品等置場などとして使う、共有研究スペース
規模	教員用研究室 1 室あたり 15 m ² 程度
設置数	教員用研究室の配置計画による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンエリアとすること。 ・研究活動に支障がない程度の遮音性を有すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に用いる、機器や書棚を設置可能とすること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・手洗いを設けること。 ・適宜、掲示板、ピクチャーレールを設置すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用研究室との連携を考慮した一連のスペースとして配置とすること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・研究で使用する機材（アイロン等）を想定した設備とすること。 ・適宜、床コンセントを設けること。

（４）管理・事務局

事務局	
用途	大学事務
規模	120 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの来校者、学生の登下校の様子が確認でき、来校者や学生からわかりやすい位置に配置すること。 ・事務室とキャリア支援室は扉 1 枚で行き来でき、一体的に業務を行なえるしつらえとすること。 ・打合せスペース（15～20m²程度）を設けること。 ・更衣室（15m²程度）（男 4 人、女11人程度）を設けること。 ・給湯室（5m²程度）を設けること。室には流しを設置すること（温水）。冷蔵庫（移設）、電子レンジ台（移設）、食器棚（移設）を設置可能とすること。 <p>水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施錠可能な倉庫（15m²程度）を設けること。 ・耐火金庫（600kg）（510kg）（移設）を設置するための床補強を行うこと。 ・ロビー側に受付のためのハイカウンターを設置すること。 ・カウンター前は受付を行う学生が集中するので、適切な待合スペースを確保すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・ O A床とする。 ・ ブラインドを設置すること。 ・ 廊下の壁に行事予定表及び、掲示板を設置すること。 ・ 教員用メールボックスを設置すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務室、キャリア支援室、保健室、非常勤講師控室は 1 階に設置し、相互に容易に連携できる室配置とすること。 ・ ロビーに隣接すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務室にて各種設備の監視制御等機器設置を行うこと。 ・ 部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

キャリア支援室	
用途	就職情報の閲覧・ウェブ会議・事務手続
規模	25 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からの来校者や学生からわかりやすい位置に配置すること。 ・ 事務室とキャリア支援室は扉 1 枚で行き来でき、一体的に業務を行なえるしつらえとすること。 ・ 廊下側から中の様子が見えるようにすること。 ・ 打合せスペースを設けること。ここは学生の事務手続きを行うことを想定しているので、事務室との接続のよい場所に設けること。 ・ 情報コーナーとして、以下の移設品を設置可能なスペースを設けること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ パソコン閲覧用の机、椅子× 2 組 ◦ パンフレットラック× 2 台 ◦ 平台 ◦ 書棚 ・ 出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。 ・ O A床とする。 ・ ブラインドを設置すること。 ・ 壁面は映写可能であること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	・打合やウェブ会議を行うので、隣室の音が気にならない程度の仕様とすること。
他室との関係	・事務室、キャリア支援室、保健室、非常勤講師控室は 1 階に設置し、相互に容易に連携できる室配置とすること。
建築設備要件	－

印刷室	
用途	印刷、消耗品収納
規模	15 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室の近くに配置すること。 ・印刷機、プリンターを設置できること。 ・印刷用紙、トナーなどを保管する物品棚を設置できること。 ・OA床とする。 ・ブラインドを設置すること。
他室との関係	・事務室と容易に行き来できる位置に配置すること。
建築設備要件	－

保健室	
用途	保健室
規模	40 m ² 程度（別途相談室 7 m ² 程度）
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のプライバシーに配慮した室配置、しつらえとすること。 ・外部と直接出入りできること。 ・ストレッチャーでの移動が容易であること。 ・ベッド 2 台を設置できるスペースを設けること。またベッド周囲にカーテンを設置するためのカーテンレールを設けること。 ・布団収納クローゼットを設けること。 ・シャワーブース（脱衣洗面所付）を設置すること。 ・手洗いを設けること。 ・シンク（幅 0.9m 程度）（温水）を設けること。水栓器具はレ

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>バー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談室（5～9 m²）を設けること。室は利用者のプライバシーに配慮した防音仕様とし、部屋の外から容易に見えないようにすること。P Cを使った作業が行えること。保健室とは扉一枚で行き来でき、廊下からも入室できること。 ・出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。中の様子が確認できる窓付きとすること。 ・廊下の壁に掲示板を設置すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室、キャリア支援室、保健室、非常勤講師控室は1階に設置し、相互に容易に連携できる室配置とすること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌機用等の電気の単独回路を設けること。

非常勤講師控室	
用途	非常勤講師の控室
規模	12 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師2名分の控室として、机、椅子、ロッカーを設置するスペース。 ・外部講師の控室としての使用を想定すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室、キャリア支援室、保健室、非常勤講師控室は1階に設置し、相互に容易に連携できる室配置とすること。
建築設備要件	－

会議室 兼 応接室	
用途	会議室 兼 応接室
規模	55 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・応接室であることに配慮した、床、壁の仕上げとすること。 ・学長室に扉一枚で行き来できること。 ・O A床とする。 ・ピクチャーレールを設ける。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・来校者からわかりやすい位置に配置すること。 ・学長室に隣接すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを投影するための電動スクリーン及びスクリーンボックスを設ける。 ・簡易型ワイヤレスアンプマイクシステムを設置すること。
--	--

サーバ室	
用途	サーバの設置スペース、電算作業
規模	25 m ² 以上
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有サーバが設置可能かつ、将来増設用スペースを有すること。 ・ 電算作業（入試、履修登録等。詳細は大学との協議による）が可能であること。 ・ O A床とすること。 ・ 壁一面に物品棚（幅1.8m×高さ1.8m、3段程度）を設けること。 ・ 備品棚（幅1.8m程度）を設置するスペースを設けること。 ・ 移設予定機器は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 学校サーバ ◦ 入試用サーバ ◦ 教務システム一式 ◦ 作業用机、椅子
他室との関係	・ コンピュータ室（大）と容易に行き来できる位置に配置すること。
建築設備要件	・ 部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

学長室	
用途	学長室
規模	20 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学長室であることに配慮した、床、壁の仕上げとすること。 ・ 移設する机、ソファ、物品棚、冷蔵庫、電子レンジ等が設置可能なスペース。 ・ ピクチャーレールを設けること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	・手洗いを設けること。
他室との関係	・会議室兼応接室に隣接し、扉一枚で行き来できること。
建築設備要件	－

倉庫	
用途	倉庫
規模	1 階 倉庫(教務)：25 m ² 程度 1 階 倉庫(外)：25 m ² 程度 任意階 倉庫(教務)：50 m ² 程度 任意階 倉庫：適宜
設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の物品を保管する倉庫 <ul style="list-style-type: none"> ▫ 1 階 倉庫(教務)：印刷用紙ほか消耗品。 ▫ 1 階 倉庫(外)：垂れ幕、立て看板、掃除道具、園芸器具ほか外部で使用する品。 ▫ 任意階 倉庫(教務)：既存のファイリング、大学紀要等 ▫ 任意階 倉庫：講義室・コンピュータ室・ゼミ室の什器、消耗品の収納用、及びサービス用の倉庫を適宜配置すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・収納物品を利用する部屋の近くに設けること。 ・倉庫（外）は外部から直接出入りできること。
建築設備要件	－

(5) 共用部

ロビー	
用途	ロビー・展示
規模	70 m ² 程度
設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、開放感のある、市立短期大学にふさわしい空間とすること。華美になりすぎないこと。 ・来訪者からわかりやすく、かつ、児島公園を含む敷地一帯の動線計画が円滑となり、セキュリティの確保が容易な場所に配置すること。 ・学生の事務受付の待合スペースを設けること。

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報などパンフレットの配付棚の設置スペースを確保すること。 ・ 保育学科用、服飾美術学科用、教務用の掲示板を各 1 台設置すること。大きさや仕様は大学との協議による。 ・ ロビーの一部はギャラリースペースとして利用できること。ギャラリースペースには照明ダクトレール（配線ダクト用スポットライト×12個程度）を設け、作品の展示吊り下げも可能な強度を有すること。 ・ 展示コーナーを設ける。展示コーナーは、市立短期大学の研究内容、実績などをショーウィンドウ的に展示するコーナーとし、学外からも見えやすい場所に適宜設けること。展示コーナーは、展示替え作業が容易にできる構造とし、休日の作業が行えるように計画すること。照明ダクトレール（配線ダクト用スポットライト×6個程度）を設けうこと。 ・ 正面玄関は自動扉とし、風除室を設置すること。 ・ 雨水等を施設内に持ち込まないよう、雨水等対策のステンレスラインのマットを設置すること。 ・ 傘立てを設置する場所を確保すること。 ・ 入口に郵便受けを設置すること。 ・ 案内板を設置すること。 ・ 受付に近い、分かり易い位置に、A E D（自動体外式除細動器）用ボックスを設置すること。 ・ 正面玄関とは別に、学生職員用通用口を設置すること。必要に応じ、適宜通用口を設けること。 ・ 学生職員通用口には機械警備用機器の設置スペースを確保すること。
他室との関係	・ 事務室に隣接すること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配線ダクト（スポットライト）を設置すること。 ・ デジタルサイネージを設置すること。

学生ラウンジ	
用途	休憩・自習・交流
規模	提案による
設置数	提案による

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自習・休憩・交流のスペースにふさわしい空間。 ・ 手洗い給湯スペース（手洗い洗面台2台程度。シンク（L＝1.2m程度、温水）、給湯器、電子レンジが設置可能なこと）を設けること。なお、便所が近接している場合、手洗い洗面台は省略することができる。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・ 姿見（全身）を設置すること。 ・ コピーコーナー、自販機コーナーを設けること。 ・ ブラインド等（提案による）を設置すること。 ・ 机またはカウンター（P Cが利用可能なこと）を設置すること。 ・ 椅子、ソファを設置すること（提案による）。
他室との関係	・ 教員用研究室、会議室から近すぎないこと。
建築設備要件	－

ロッカー室	
用途	更衣、手荷物保管
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロッカー（備品）を設置するスペース。ロッカーの一人あたりの大きさは幅0.3m×高さ1.8m程度を目安とする。 ・ ロッカー数270個（女240、男20、多目的10）。 ・ 女性用、男性用、多目的はそれぞれ独立した室とする。 ・ 適宜、姿見（全身）を設ける。
他室との関係	・ ロッカー利用動線が、来校者動線と交錯することのないように配置すること。
建築設備要件	－

トイレ（男・女・多）	
用途	便所
規模	40～50 m ² 程度（提案による）
設置数	提案による
諸室仕様	・ 適切な位置に、男性用便所、女性用便所を配置すること。便器等の数量は、利用者の内容（子ども、大人）や人数を考慮

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

	<p>して設定すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各階に多目的トイレを設置すること。 ・乳幼児の利用が想定される演習室を設置する階の多目的トイレには、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボード、幼児用大便器（3-5歳用、暖房便座）を設置すること。 ・1階の多目的トイレの便房内には、多目的シート、オストメイト用設備を設置すること。 ・防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・女性用便所には身だしなみを整えるスペースを設けること。 ・手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。 ・手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 ・小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・学生用ラウンジに近接すること。多目的便所は保健室の近くが望ましい。
建築設備要件	－

洗濯スペース	
用途	洗濯、物干し
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・移設する洗濯機（2台）を設置可能なオープンスペースを設けること。 ・屋上に物干しスペースを設けること。面積は協議による。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・物干しスペースに近接した位置の屋内に洗濯スペースを設けること。
建築設備要件	－

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

廊下	
用途	廊下
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。 ・ 安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。 ・ 必要な場所に手すりを設けること。 ・ 掲示板（幅1.8m×幅1.2m程度）を適宜設置すること。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 ・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

電気室	
用途	電気室
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各仕上りは騒音や振動等の影響が及びにくいものとする。 ・ 機器の交換が容易に行える計画とすること。将来の増設スペースを適切に見込むこと。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 ・ 機能の一部を屋外に設けることは差し支えない。 ・ 屋外に設置する場合には、SUS製等の耐候性及び耐塩害に優れた構造とすること。液状化に配慮した設置計画とすること。
建築設備要件	・ 更新用スペースやメンテナンスを考慮した配置とすること。

機械室	
用途	機械室
規模	提案による

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・各仕上げは騒音や振動等の影響が及びにくいものとする ・機器の交換が容易に行える計画とすること。将来の増設スペースを適切に見込むこと。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。 ・機器の一部を屋外に設けることは差し支えない。 ・屋外に設置する場合には耐候性、耐塩害に優れた構造とすること。
建築設備要件	・更新用スペースやメンテナンスを考慮した配置とすること。

（6）その他

ゴミ庫	
用途	ゴミ庫
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に設ける。別棟としてもよい。施錠できること。 ・屋根付とし、現在程度の規模（幅 4 m×奥行 1.5m）とパッカー車の寄り付きを考慮すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

駐輪場	
用途	駐輪場
規模	提案による
設置数	提案による
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に設ける。別棟としても良い。 ・その他の仕様は別紙 4 による。
他室との関係	－
建築設備要件	－

農場	
用途	授業（実習）を行う農場

別紙 1 市立短期大学棟（本校舎）施設整備計画要領

規模	20 m ² 以上
設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部に設けること。 ・ 屋外、屋上、いずれに設けても良い。植栽の一部区画を農場としても良い。 ・ 散水用の水栓柱、地流しを設けること。 ・ 柵を周囲にめぐらせること。侵入、盗難のおそれの少ない場所に配置すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－